

令和 3 年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅱ四半期＞

報 告 書

目 次

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間	1
1-2. 調査対象	1
1-3. 調査方法	1
1-4. 回収状況	1

第2章 概況

2-1. 全体の動き	2
2-2. 業種別の動き	3

第3章 各判断項目回答割合と天気図

3-1. 記号説明	4
3-2. 各業種の動向	4
3-3. 採算	7

第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数	8
4-2. 回答割合	8

第5章 産業別設備投資の状況

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点:令和3年7月1日(木)～3年9月30日(木)

(2) 調査対象期間:令和3年7月～9月期実施、及び令和3年10月～12月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(24件)、卸売業(20件)、小売業(40件)、サービス業(44件)の158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

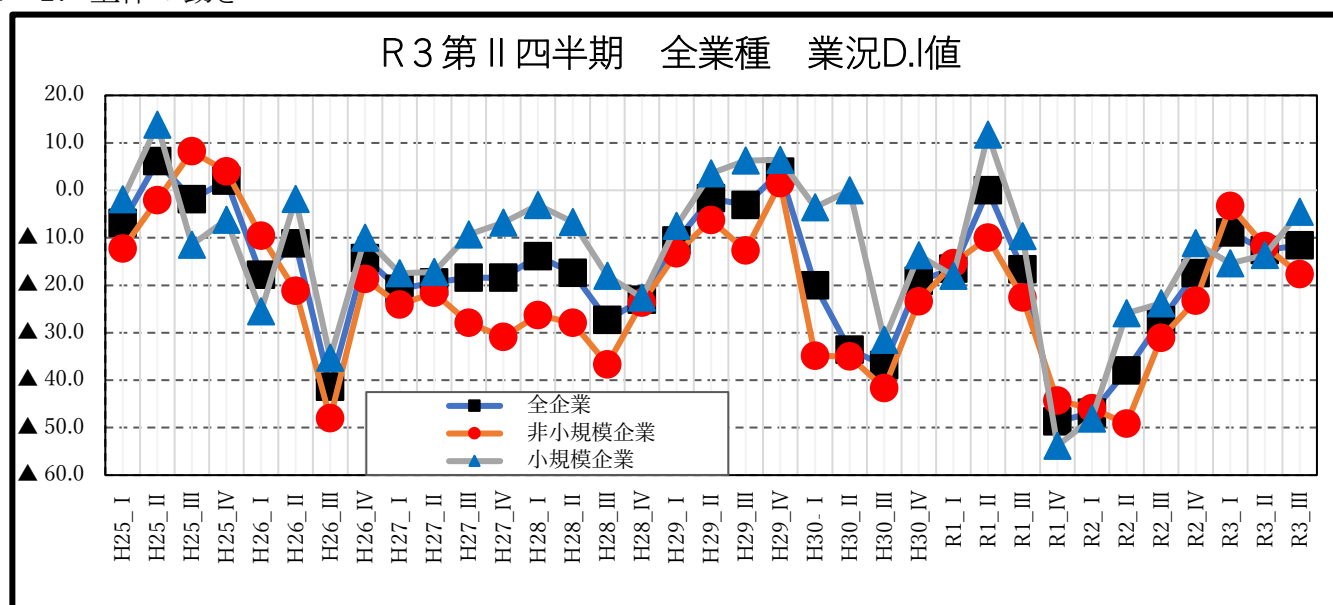
調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

1-4. 回収状況

業 種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		30 件	24 件 (非小規模企業: 12 件) (小規模企業: 12 件)	80.0 %
製造業		24 件	17 件 (非小規模企業: 9 件) (小規模企業: 8 件)	70.8 %
卸売業		20 件	13 件 (非小規模企業: 9 件) (小規模企業: 4 件)	65.0 %
小売業		40 件	24 件 (非小規模企業: 12 件) (小規模企業: 12 件)	60.0 %
サービス業		44 件	34 件 (非小規模企業: 17 件) (小規模企業: 17 件)	77.3 %
合 計		158 件	112 件	70.9 %

第2章 概況

2-1. 全体の動き



令和3年度第Ⅱ四半期（7月～9月）の業況は、前年同月比で「好転企業」22.3%「悪化企業」32.1%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は▲9.8、前期と比較して0.8ポイント悪化しました。

業種別で見た業況は建設業が3.3ポイント改善し▲4.1、製造業は17.6ポイント悪化し11.8、卸売業29.4ポイント悪化し▲38.5、小売業14.1ポイント改善し▲16.7、サービス業4.1ポイント改善し▲8.8と製造業と卸売業以外で好転傾向を示し、特に小売業は大きく改善しました。

次期（10月～12月）の業況判断D.I値は、今期と比べ0.1ポイント悪化し、▲9.9を予想しております。業種別では建設業20.9ポイント悪化し▲25.0、製造業0.7ポイント悪化し12.5、卸売業23.1ポイント改善し▲15.4、小売業6.4ポイント悪化し▲23.1、サービス業5.8ポイント改善し▲3.0、第Ⅱ四半期との比較で悪化しているところが多く、見通しが立たない状況になっています。

今期の課題として「人手不足」「得意先減少」「諸経費増」を問題にしている企業が増えています。また、今期の特徴として「同業者間の競合」が減少傾向にあります。

全体としては、R1第Ⅱ四半期から9期連続でマイナス水準を示しており、特にR1第Ⅳ四半期からは新型コロナウイルスが影響を与えたものと推測されます。依然としてコロナ禍の先行きが見えないことから予断を許さない状況にあります。

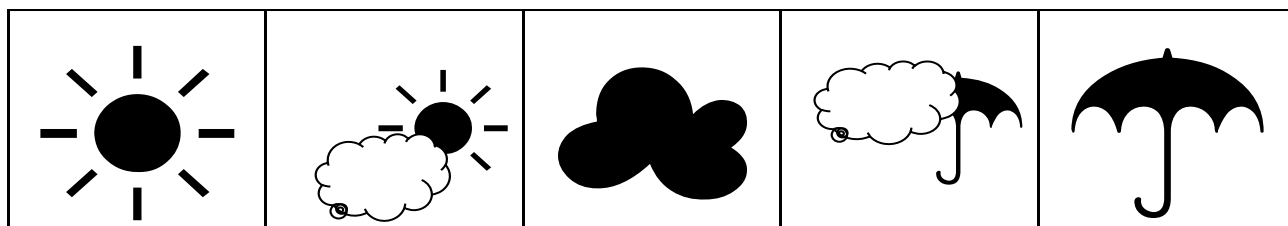
このような中、今後も全業種において経営改善に向けた対応や対策が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

	規模/項目	売上高（完成工事高）			採算			次期（D.I値）		
		増 加	減 少	DI値	増 加	減 少	DI値	業 況	売 上	資金繰
建設業	小 規 模	8.3	33.3	▲ 25.0	0.0	33.3	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 41.7	▲ 25.0
	非小規模	36.4	18.2	18.2	33.3	33.3	0.0	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 25.0
	全 体	21.7	26.1	▲ 4.3	16.7	33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 30.4	▲ 25.0
製造業	小 規 模	37.5	37.5	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非小規模	44.4	22.2	22.2	33.3	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2
	全 体	41.2	29.4	11.8	29.4	17.6	11.8	12.5	6.3	12.5
卸売業	小 規 模	0.0	25.0	▲ 25.0	0.0	25.0	▲ 25.0	0.0	0.0	▲ 50.0
	非小規模	11.1	77.8	▲ 66.7	0.0	66.7	▲ 66.7	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 11.1
	全 体	7.7	61.5	▲ 53.8	0.0	53.8	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 23.1
小売業	小 規 模	16.7	33.3	▲ 16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	8.3	▲ 16.7
	非小規模	33.3	41.7	▲ 8.3	9.1	45.5	▲ 36.4	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 33.3
	全 体	25.0	37.5	▲ 12.5	13.0	30.4	▲ 17.4	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 25.0
サービス業	小 規 模	23.5	29.4	▲ 5.9	17.6	35.3	▲ 17.6	▲ 5.9	▲ 17.6	0.0
	非小規模	41.2	47.1	▲ 5.9	35.3	41.2	▲ 5.9	0.0	▲ 11.8	▲ 5.9
	全 体	32.4	38.2	▲ 5.9	26.5	38.2	▲ 11.8	▲ 2.9	▲ 14.7	▲ 2.9

第3章 各判断項目回答割合と天気図

3-1. 記号説明



とくに好調
(D.I. ≥ 50)

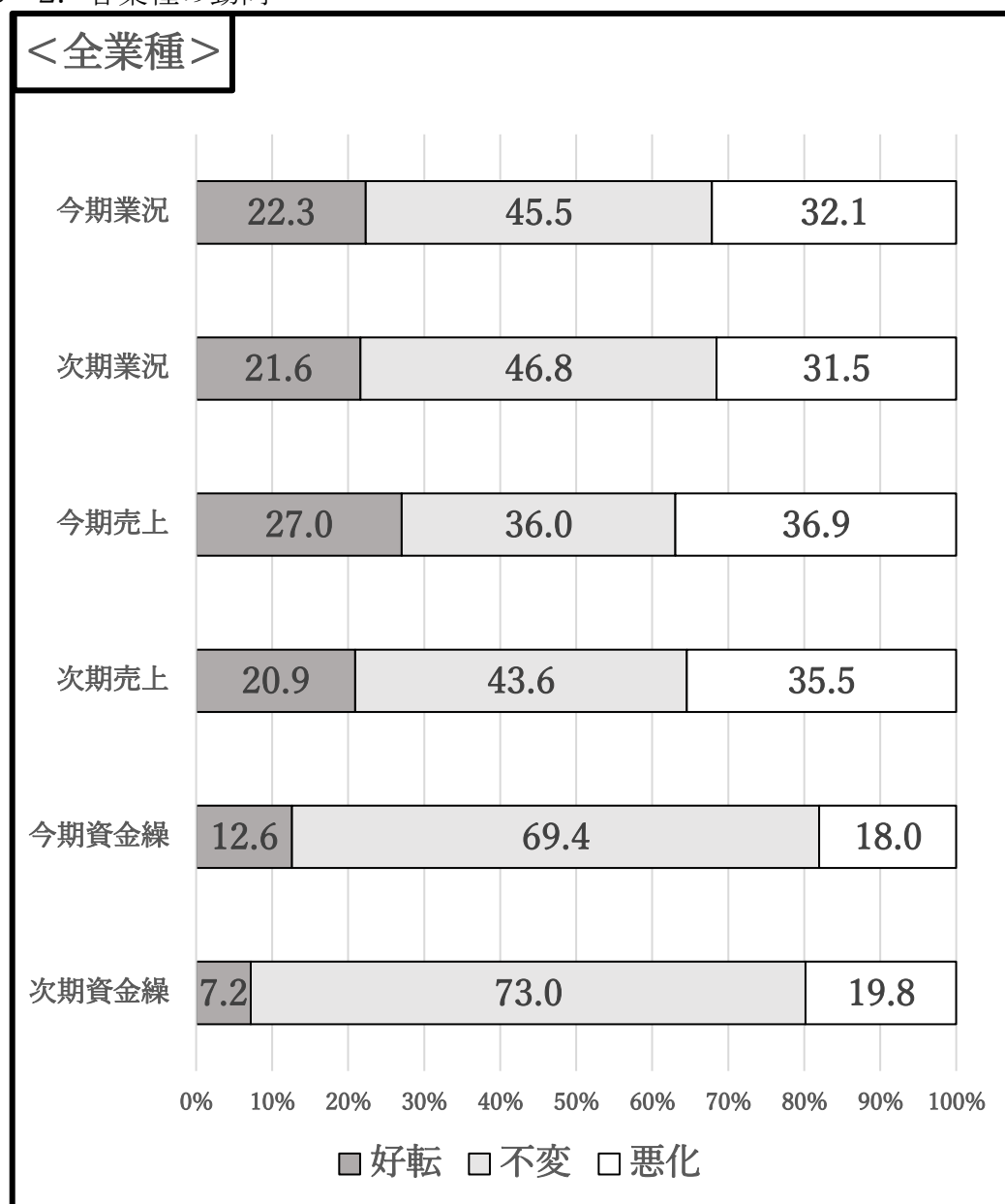
好 調
(50 > D.I. ≥ 25)

まあまあ
(25 > D.I. ≥ 0)

不 振
(0 > D.I. ≥ ▲25)

きわめて不振
(▲25 > D.I.)

3-2. 各業種の動向



▲ 9.8



▲ 9.9



▲ 9.9



▲ 14.6



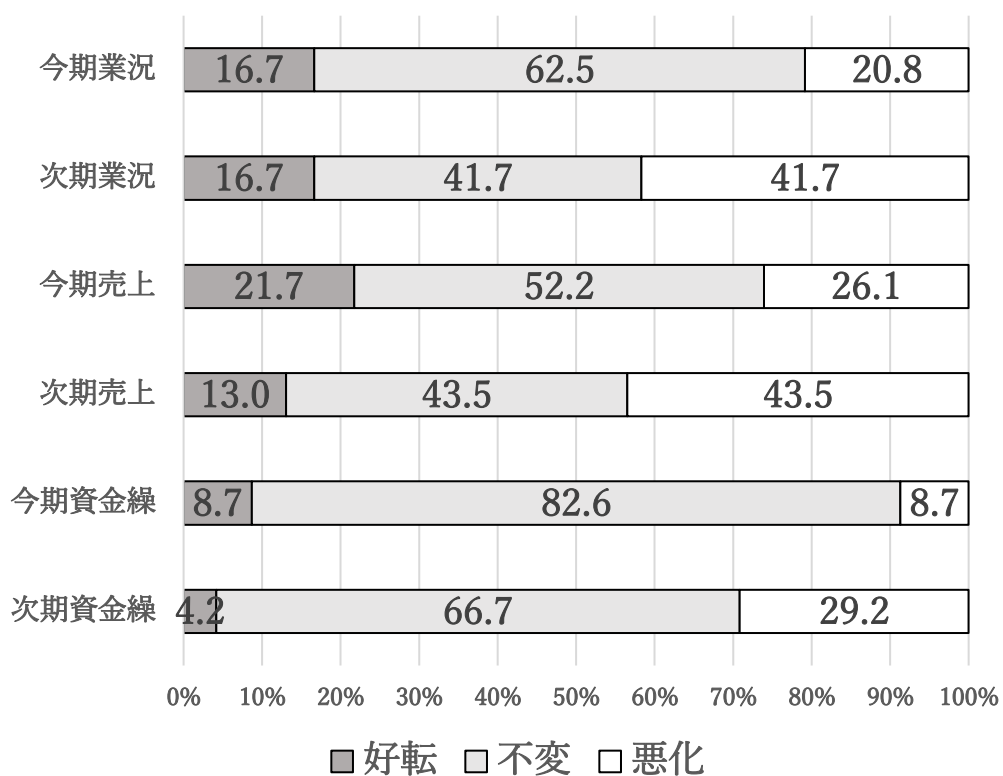
▲ 5.4



▲ 12.7



<建設業>



▲ 4.1



▲ 25.0



▲ 4.4



▲ 30.5



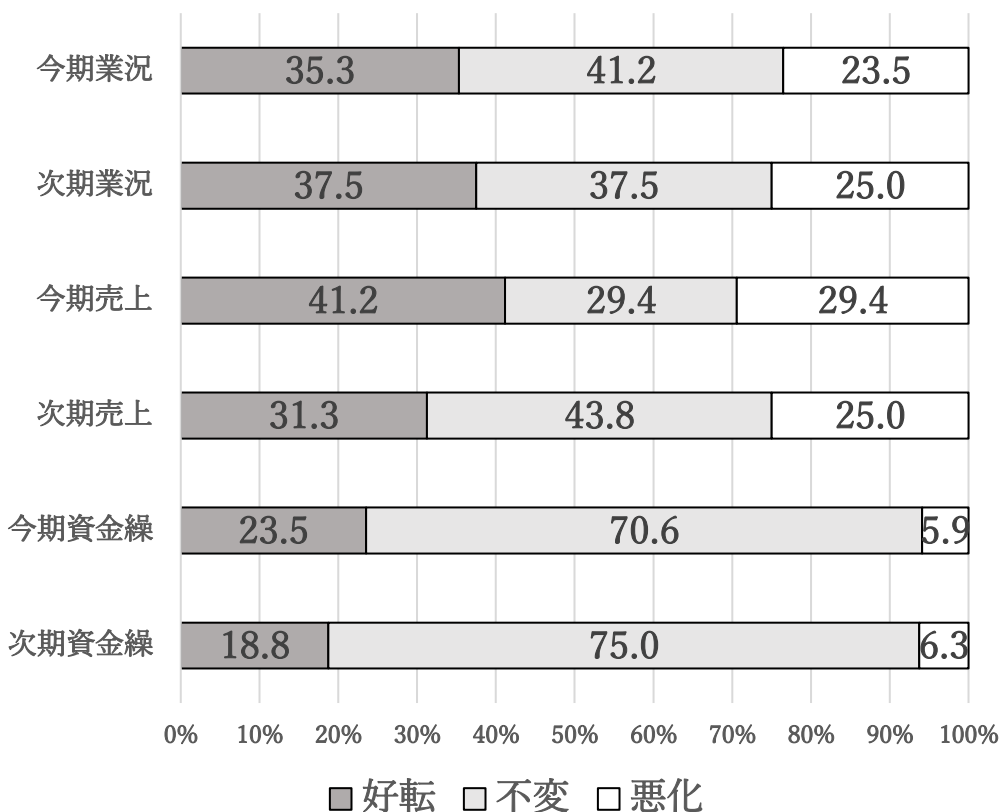
0.0



▲ 25.0



<製造業>



11.8



12.5



11.8



6.3



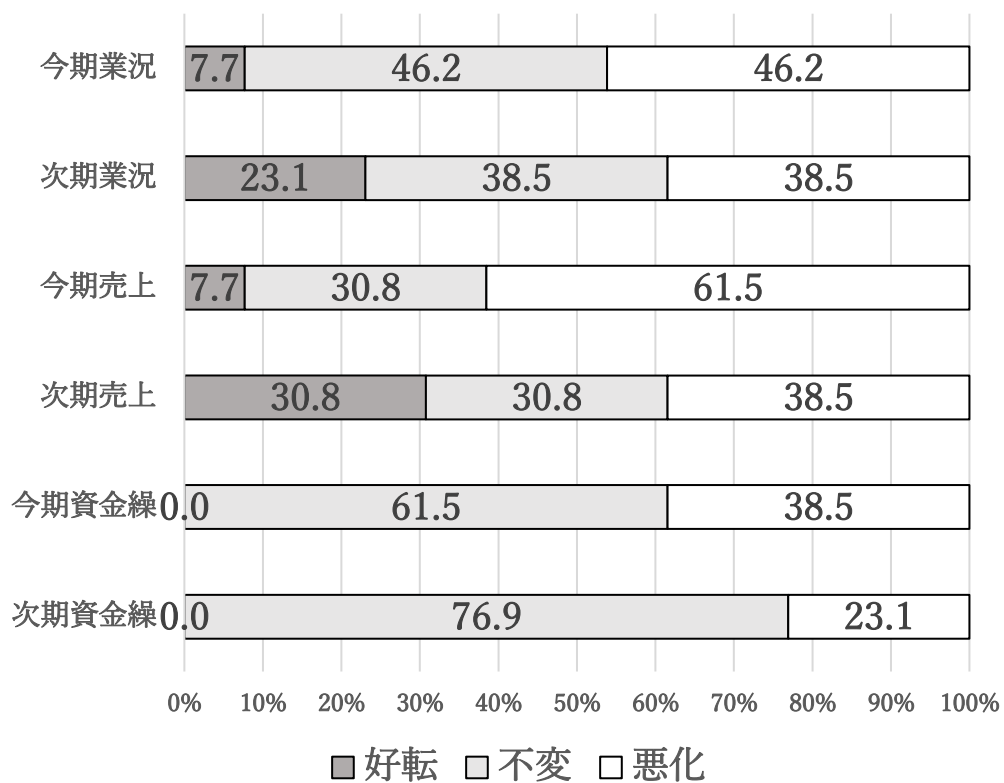
17.6



12.5



<卸売業>



▲ 3 8.5



▲ 1 5.4



▲ 5 3.8



▲ 7.7



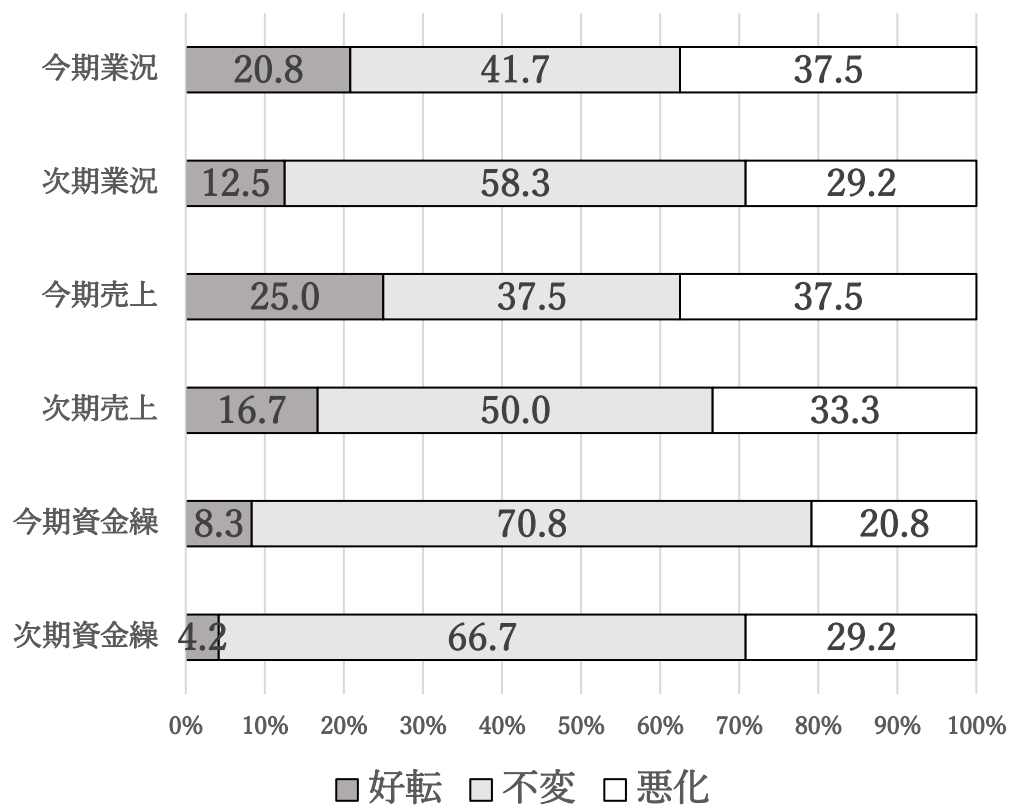
▲ 3 8.5



▲ 2 3.1



<小売業>



▲ 1 6.7



▲ 1 6.7



▲ 1 2.5



▲ 1 6.6



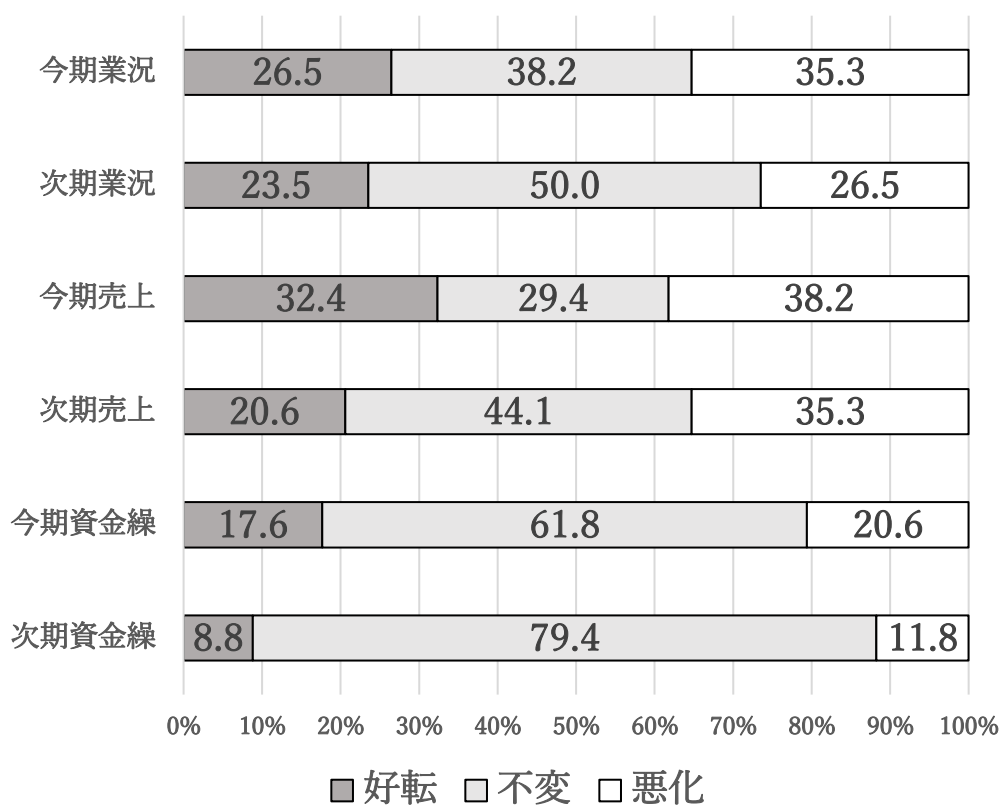
▲ 1 2.5



▲ 2 5.0



<サービス業>



▲ 8.8



▲ 3.0



▲ 5.8



▲ 14.7



▲ 3.0

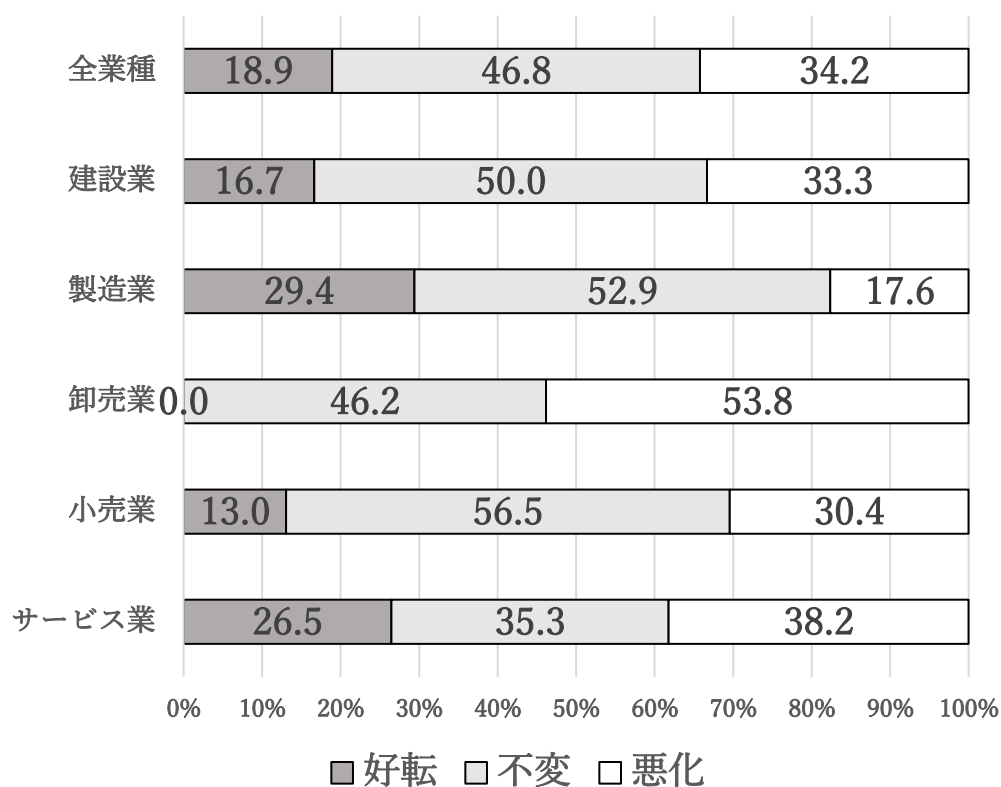


▲ 3.0



3-3. 採算

今期の採算<業種別>



▲ 15.8



▲ 16.6



11.8



▲ 53.8



▲ 17.4



▲ 11.7

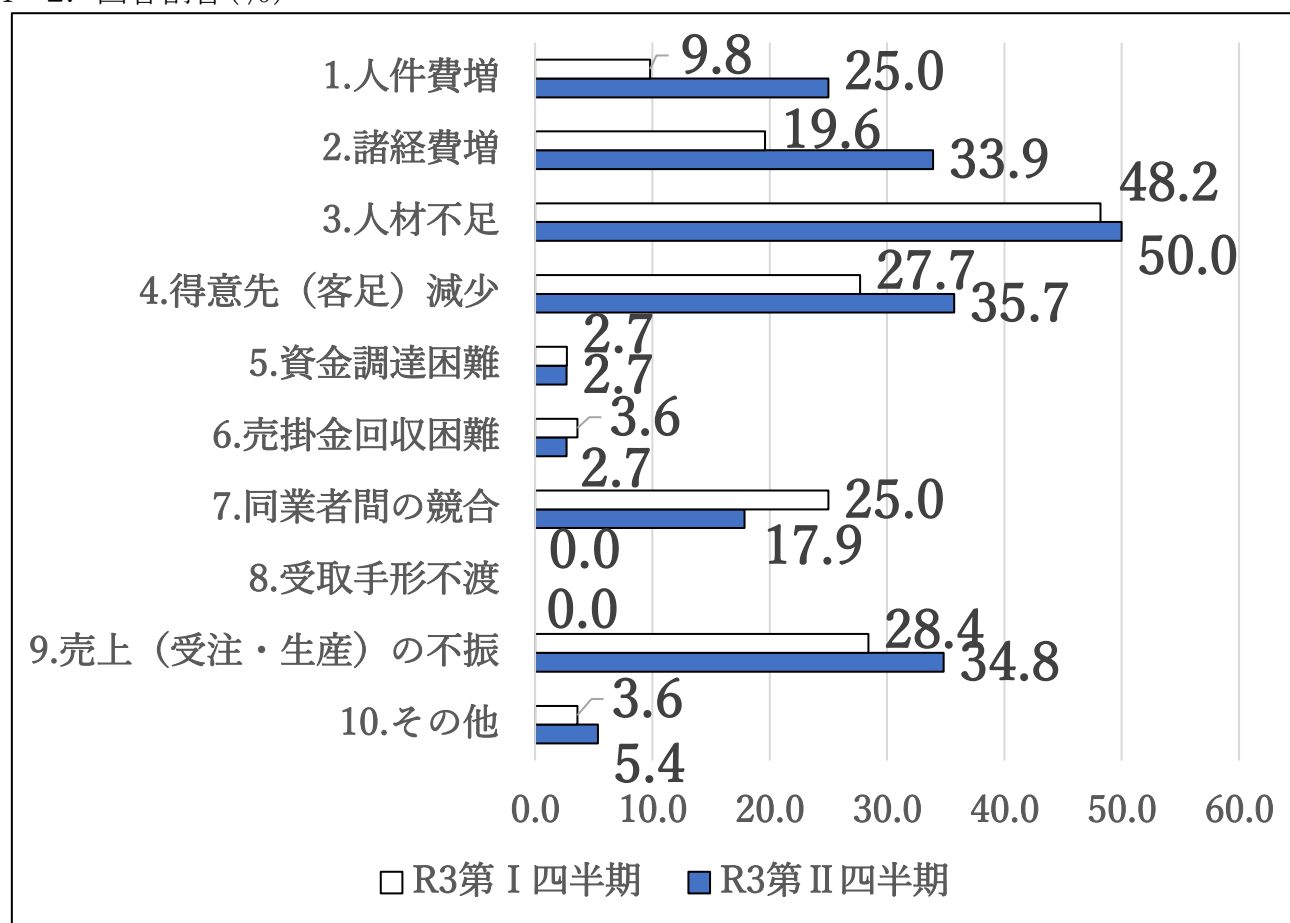


第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	人件費増 売上の不振	諸経費増 その他	同業者間の競合	得意先減少
製造業	人材不足	諸経費増	売上の不振	人件費増	得意先減少
卸売業	得意先減少	同業者間の競合 売上の不振	諸経費増	人件費増 人材不足	資金調達困難
小売業	得意先減少	人材不足	売上の不振	諸経費増 同業者間の競合	人件費増
サービス業	諸経費増 得意先減少	人材不足	売上の不振	人件費増	同業者間の競合
全業種	人材不足	得意先減少	諸経費増	売上の不振	人件費増

4-2. 回答割合(%)



注：複数回答あり

【建設業】

・外注費。ウッドショック等の値上がり。資材の高騰。人口減少。

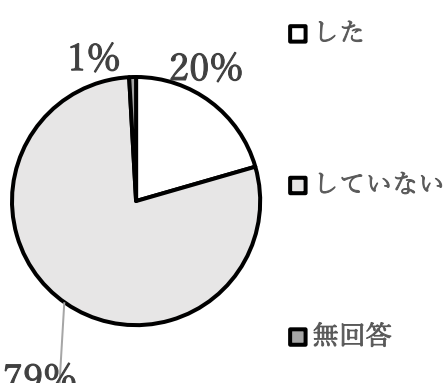
【製造業】

・生産能力。

第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

全業種	設備投資状況	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
 1% 20% 79% □ した □ していない ■ 無回答	した	8件 33.3%	4件 23.5%	1件 7.7%	3件 12.5%	7件 20.6%
	していない	16件 66.7%	13件 76.5%	11件 84.6%	21件 87.5%	27件 79.4%
	無回答	0件 0.0%	0件 0.0%	1件 7.7%	0件 0.0%	0件 0.0%
	合計	24件 100.0%	17件 100.0%	13件 100.0%	24件 100.0%	34件 100.0%

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	0件	0件	0件	1件	2件	3件
店舗	0件	0件	0件	0件	0件	0件
販売設備	0件	1件	0件	0件	0件	1件
車両運搬具	6件	1件	1件	3件	1件	12件
付帯設備	1件	3件	0件	1件	2件	7件
OA機器	1件	0件	1件	0件	1件	3件
福利厚生施設	0件	1件	0件	0件	0件	1件
その他	1件	0件	0件	0件	1件	2件
合計	9件	6件	2件	5件	7件	29件

※複数回答があるため、表1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(2件記述あり)

【建設業】

- ・ 工具器具。

【サービス業】

- ・ 貸家。

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・コロナ禍の中で来年以降のインフラ整備の状況が見えない。
- ・長期的に見れば人口減少により地域経済が縮小していけば商工業者が衰退していく。もう遅いが人口減少に歯止めをかける策を講じなければならない。人口減少ありきではいけないのではと思う。
- ・人材不足のため、ギリギリの状態。他業種（飲食業者）、退職者など、高齢アルバイト作業員が3人ほど入ったが3日でやめてしまった。
- ・年内は、工事量も多く忙しい状況にありますが、来年1月以降の工事発注がどのようになっていくのか不安であります。

【製造業】

- ・人材不足により派遣会社をお願いしています。人件費増にもなっています。
- ・未だ、コロナによるイベント等の中止による印刷物の減少が続いている。10月より資材の値上げが、価格に転嫁しづらい。
- ・道外観光客の減少による売上減が大きく大変である。特にツアー客が今期は全くなかった。
- ・主原料の高値水準が続いている。コロナ禍で消費が低迷している。業界全体が厳しい。

【卸売業】

- ・人材の確保・育成等の課題あり。
- ・天候不順で作柄が悪いものと不変のものがある。この冬の間の状況により変動するかもしれない。

【小売業】

- ・観光関連では予測は不透明。コロナ終息後のしばらく業績向上の実現は無理。インバウンドが回復すればと期待しています。
- ・政治力に期待！大規模な消費拡大に繋がる施策を！！

【サービス業】

- ・緊急事態宣言の延長による受注減少により、今期は夏場シーズン（お盆時期以外）で惨敗している。10月からは感染者数の減少に伴う受注の動きは出ているものの、去年のGoTo、どうみん割、地域割等の強化施策も出しておらず、政変（衆院選後）まで期待できず、実施も11月中旬からと予想している。是非、新たな枠組による地域割の実施を要望すると共に地域活性へのご支援をお願いしたい。
- ・DXを取り込んだ業務改革への情報収集不足。
- ・諸経費増は今後の経営戦略に負担になると思われる。
- ・観光客は少ないが工事関係者はコンスタントに入っている。
- ・業況は悪くなっている。コロナ禍の影響が要因。加えて、諸経費が徐々に増加しているのも大きい。コロナの後遺症か、働く意欲や集中力の欠落も。時の経過を待つしかないのか。
- ・市では回復していると新聞記事などで書いてありますが前々年度並みには戻っていないように思います。先行不安定です。